四季 ー志木自然報告ー
Shiki Seasonal Nature Reports 2004

Introduction

年度始めにあたり…

　新入生のみなさん. ご入学おめでとうございます. つい二月ほど前に志望理由を聞かれ, うっかり『貴校の豊かな自然環境の中で落ち着いて勉強がしたいからです』と言ってしまった貴君達のために小誌は発行されています.
　卒業までにせめて10種類ぐらいの生物種名が言えると良いですね. 先輩方も…

温暖化の生態系への影響

　"SCIENTIFIC AMERICAN"という科学雑誌の2004年1月号に"Spring Foward(早まる春)"という題の論文が掲載されました. これは, (温暖化により)木々の芽吹きが早まると若葉を食草とするイモムシ, それらを餌にする小鳥の繁殖ピークがどんどんずれていき, 何種かの生物は, この変化に適応できずに絶滅していくだろう, というものです.
　例えば, オランダのシジュウカラという鳥は, 孵化から巣立ちまでの間のもっともヒナが食欲旺盛になる時期が, 餌となるフユナミシャクというイモムシの個体数ピーク時に重なるよう産卵してきました. しかし, 気候パターンの変化によりフユナミシャクの餌となるナラの木の芽吹きが早まったため, 幼虫のピークは前にずれました(フユナミシャクは気候変動に対応できたわけです). しかし, シジュウカラの産卵日は例年と変わらなかったため, ヒナの餌の必要量がピークを迎えた時, フユナミシャクのイモムシのピークは既に2週間前に過ぎ去った後だったのです.
　また, 南極では(温暖化により)海からの蒸散量が増えたおかげで降雪量が"増えて"います. そのため, 本来, 雪のない地面で産卵するアデリーペンギンが雪の上に卵を産まざるをえない状況になるわけですが, 雪解け水につかった卵は腐ってしまいます. このようにして, 南極のアメリカ, パーマー基地周辺に生息するアデリーペンギンの個体数はこの30年間で70%減少しました.
　今回, この話題を載せたのは, 志木高内を植生調査のために歩いていると, 開花期が早まっていることに気づかされるからです. 2003年には2月17日に初めて開花した「ウメ」の花は, 2004年では2月10日に開花しています(1週間早). 同じく2003年3月20日前後に開花していた「ウグイスカグラ」が今年は2月28日には開花しました(3週間早).
　このような傾向が, 短期的でイレギュラーなものなのか, 長期的な永続的傾向なのか, 即断はできませんが, 注意深く見守っていく必要はあるようです.
　みなさんの周りでも, 注意しないと気づかない変化は徐々に進行しているはずです. それらをある程度見通せる観察力が養えれば, 長い人生の中で多少のモノの役には立つような気がしますが.
　そういう"センス"はお持ちですか...

(*Miyahashi*)

z/c 353-0004 埼玉県志木市本町4-14-1[tel: 048-471-1361]
慶應義塾志木高等学校

2004年 春号(No. 008.)
2004年 4月 9日発行

志木の自然[睦月(1月)〜卯月(4月)]

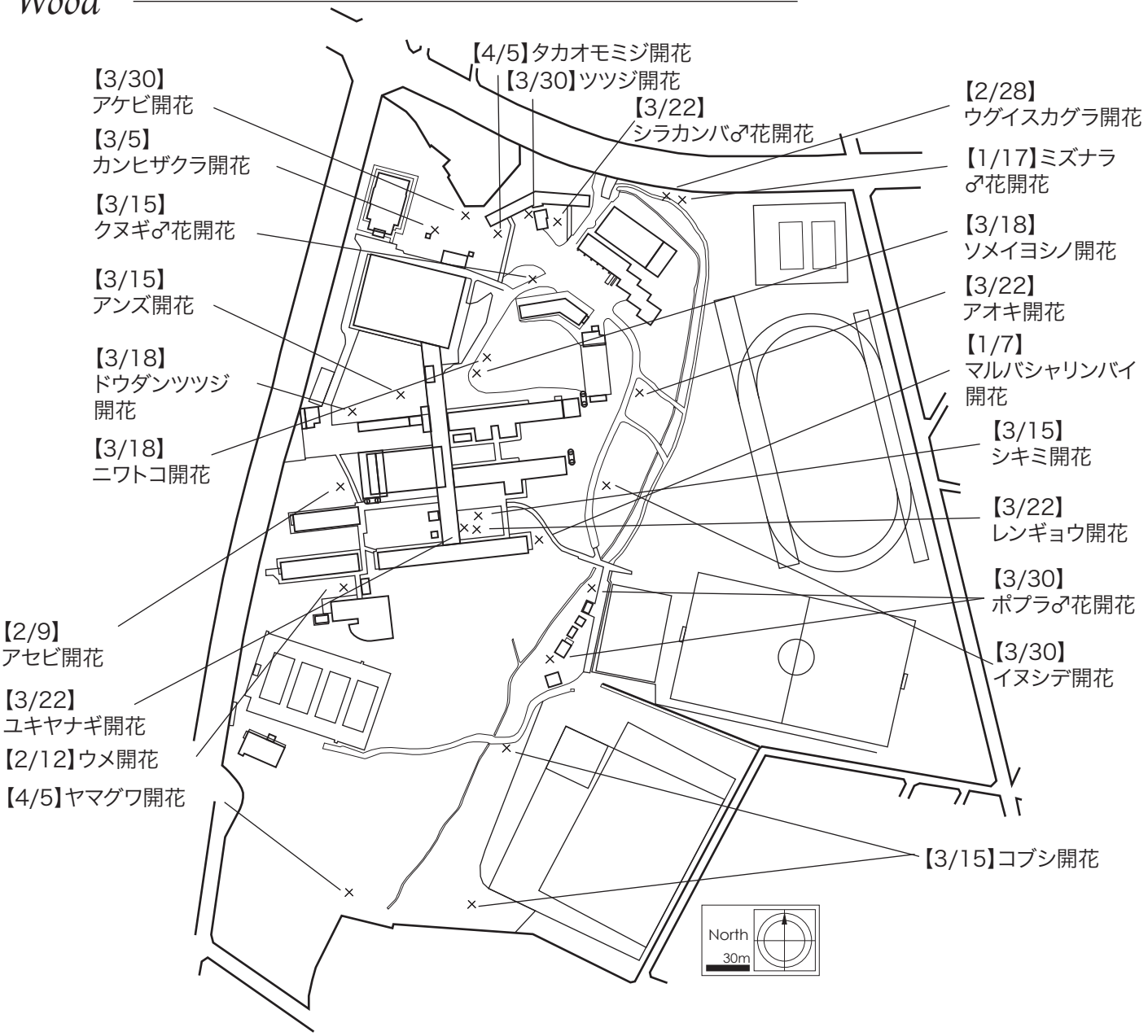
Plants [2004年1月〜2004年4月までの記録]

2003年度を通じてかなり詳細に開花情報を集めることができたので、±2週間前後の誤差はあるが、開花予想を出せるようになった。今号から巻末に少しずつ掲載していきたいと思う。

Grass

17th Jan. 2004	ウシハコベ開花。
9th Feb. 2004	ヒメオドリコソウ、ホトケノザ、タネツケバナ開花。
19th Feb 2004	ハハコグサ開花。
28th Feb. 2004	カタバミ、フキ開花。
5th Mar. 2004	ショカツサイ開花。
9h Mar. 2004	スズメノエンドウ、ハナニラ開花。
30h Mar. 2004	オニタビラコ、マルバスミレ、ムラサキケマン、ノミノツヅリ、カタクリ、トキワハゼ、ヒトリシズカ、ハルジオン、キランソウ、キュウリグサ開花。
5h Apr. 2004	カキドオシ、コオニタビラコ、セントウソウ、ヤエムグラ開花。

Wood

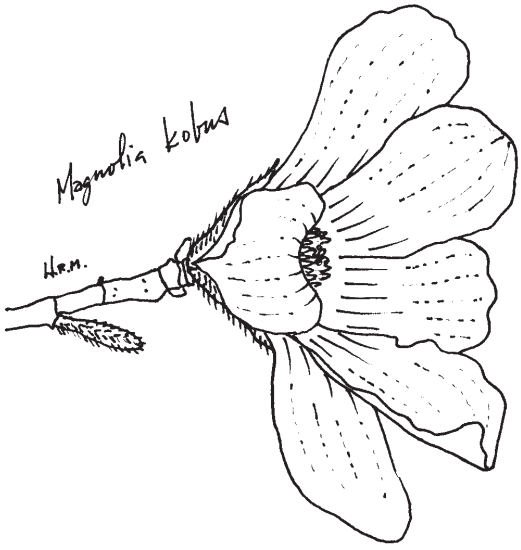


この限られた紙面では、名前の出ている植物や動物がどのようなものであるかをお示しする事は不可能です。名前を手がかりにぜひ図書館で一度調べてみてください。

(Miyahashi)

Plants-2

校内の植物
辛夷　（こぶし）　*Magnolia Kobus*



「田打ちザクラ」「種蒔ザクラ」とも呼ばれ、農作業の基準とされる。名前は蕾、あるいは果実の形がにぎり拳（こぶし）に似ているからという。

学名にあるマグノリアはモクレン科の植物をさす。マグノリアも辛夷も宮沢賢治の作品にたびたび登場する。詩には「群れてかゞやく辛夷花樹（マグノリア）」「マグノリアの花と霞の青」などと出てくる。また童話『なめとこ山の熊』中の幻想的な「ひきざくらの花」は辛夷だ。母熊と子熊が「ひきざくらの花」を見てあれは雪かしら、花かしらと話をする場面がある。北国の春を告げる気品あるこの花を賢治は愛していたのだと思う。

辛夷は実は私の母校の徽章である。高校生のとき、私は辛夷がどんな花かを知らなかった。「こぶし」、「辛夷」、音も字面も私にきれいな花を連想させなかった。また人から「泰山木」に似た花だと教えられたが、泰山木という花の、巨大な花弁が茶色くなってバラバラと散る嫌な散り際を見てからは、花を見ないまま辛夷も嫌いになってしまった。

志木高には、野球やラグビーの練習場の裏に四本の辛夷の木がある。早春、他に先駆けて真っ白い花を咲かせる。冬木の中に、辛夷の白い花が浮び上がる。辛夷の蕾がふくらむのは一年で最も寒さの厳しい時期だ。白っぽい産毛に包まれた蕾が、寒を過ぎた頃から日々ふくらむのがわかる。三月に入るとほころび始め、桜より半月ほど早く満開となる。早春の空に向かって咲く辛夷。ぱっと散るなどという浅薄な生命観に結びつけられることがなかった点でも、私は桜より辛夷に傾く。辛夷の徽章を胸に通った高校時代もありがたい時代だったと思うこの頃である。

(Hayami, J.)

Animals

ヒキガエルの産卵

3月15日, 生物実験室前の池にヒキガエルが産卵した. 3年ぶりである. 池の淵の一部を壊してスロープにしてから, 産卵が見られるようになった. 今年の卵を産んだ親はこの池で育った個体であろう. 来年が楽しみである.

(Miyahashi)

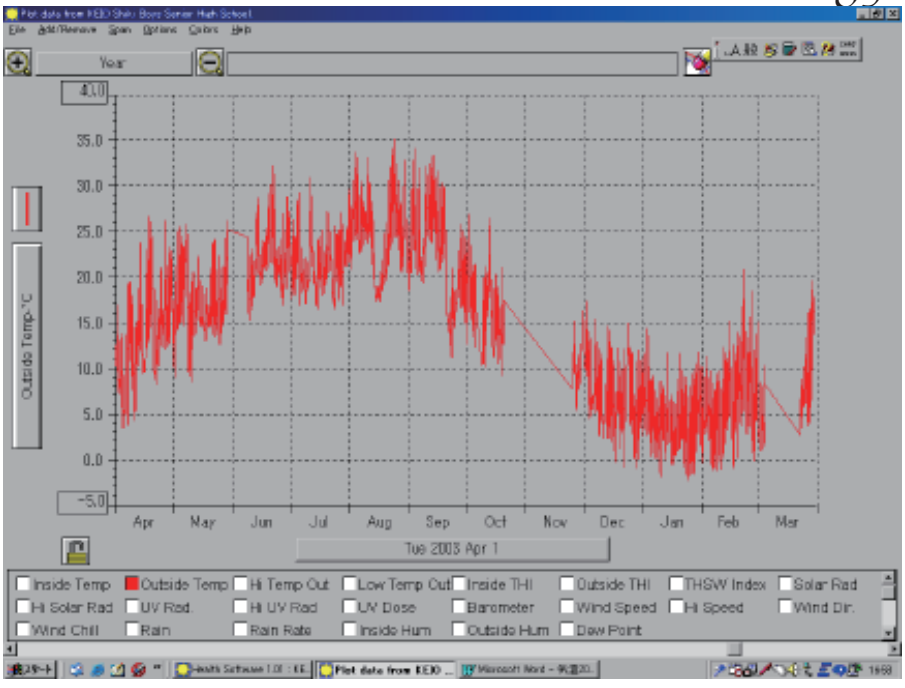
Meteorology

志木高構内の気温変化(2003年度)

1999年度より校内で10分ごとの気象観測を行っています（もちろん自動化されている）。観測している気象要素は、気温のほか気圧、風向・風速、降水量（雪を除く）、湿度、太陽放射、紫外線等です。グラフは2003年度（2003年4月1日～2004年3月30日、一部欠測日あり）一年間の気温変化です。

昨年度は例年に比べると冷夏・暖冬であったようです。8月の中頃にもかかわらず20度を下回る日が続いたことや冬の早朝に氷点下を記録した日が少なかったことなどがグラフから読み取れます。

(Higuchi)



四季折々（四月の俳句）

グランドに
体育館に
風光る

英

今回の句は、本井英先生に作句をお願いしました。

「風光る」は、四月の季題です。春になって日ざしの眩しさが増す中、吹きわたる風まで光っているようだ、という感覚が込められています。前頁で速水先生が取り上げられている「辛夷」も四月の季題です。俳句に興味がある方は御存知でしょうが、季題にはユニークなものがいくつかあります。四月では「亀鳴く」、「鳥の巣」、「羊の毛剪る」、「遠足」、「運動会」、「ボートレース」などです。ちょっと季節を想像にするのが難しそうな気もしますが。

解説文　文責　宮橋

志木高内の樹木開花予報

草本（いわゆる雑草）は難しいので、樹木だけにしました。

【4月中～下旬】
トウカエデ、ハナミズキ、カラタチ、オニグルミ、イチョウ、エゴノキ、イヌザクラetc...

【5月上旬】
ヤマボウシ、エノキ、ハリエンジュ、カマツカ、タラノキ、シュロ、ツルウメモドキ、ヌルデetc...

【5月下旬～6月上旬】
バラ、コウゾ、キリ、カキノキ、ノイバラ、スイカズラ、クリ、アカメガシワ、キョウチクトウ、ネズミモチetc...

執筆・担当区分	俳句	本井　英 (Motoi)
	鳥類	渡部　真也 (Watanabe)
	天文・気象	樋口　聡 (Higuchi)
	鳥類・植物	速水　淳子 (Hayami)
	植物・小動物[&発行責任]	宮橋　裕司 (Miyahashi)